

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2001年度第2回常任幹事会議事要録

日時：2001年12月14日（金）15時～17時55分

場所：名古屋ガーデンパレス

出席：11館15名

議事に先立ち理事校の図書館長（西原）より開会の挨拶をおこなった。議事の進行は理事校（鈴木）が担当し、出席者自己紹介の後、下記の議題を協議した。

議事

< 1 > 報告事項（第1回常任幹事会（5月7日）以降の経過について）

1. 東海地区協議会・西地区部会・私立大学図書館協会関係

理事校（鈴木）より資料に基づき報告が行なわれた。

- ・ 2002年度西地区部会総会を同志社大学で開催、終了後、国立国会図書館関西館の見学が予定されている。
- ・ 2002年度西地区部会当番校について、総会は同志社大学、研究会は九州国際大学で開催される。
- ・ 館名変更は理事校宛、館長交代は部会長校宛、新規加盟は理事校宛に所定の書式（ホームページ参照）で提出する。
- ・ 2002年度東海地区研究会幹事校は椋山女学園大学
2003年度東海地区研究会幹事校は大同工業大学
2003・2004年度西地区部会長校（東海地区理事校）は南山大学。
- ・ 2001年度西地区部会第3回役員会は3月1日アルカディア市ヶ谷で開催される。なお、東海地区第3回常任幹事会はその後に開催予定。

中京大学（加藤氏）より12月開催の私立大学図書館協会常任幹事会の資料に基づき報告が行なわれた。

- ・ 協会新規加盟校については12月10日付で愛知工科大学の申し込みを受理した。2002年度予定加盟校数は東地区217校、西地区218校で合計435校になった。
- ・ 2001年度の海外集合研修については中止をする方向で検討中であり、キャンセル料は予備費から支出する。2002年度は10月ごろ場所・希望者も同じで実施する予定である。
- ・ 国立情報学研究所と私立大学図書館協会との共同開催による目録システム地域講習会の実施要項については、名称の再考、開催会場及び回数の訂正検討を要請中である。覚書の有効期限は平成14年4月1日から平成16

年3月31日に延長する。

- ・ エルゼビア・サイエンス社問題については要望書の回答を得てから臨時委員会を収束させる。
私大版電子ジャーナル・タスクフォースの立ち上げを次期総会で提案する。
- ・ 著作権問題については実施要項 A 案に沿って複写を行なうこと、ポスターを貼ること、Q&A を複写機の近くに置くこととし、その後は各大学と日本複写権センターとの交渉で行なってもらふこととする。
- ・ 2001年～2002年度行事予定の中の2002年度第1回東西合同役員会は、2002年9月3日愛知学院大学で行なう。
- ・ 私立大学図書館協会会員名簿は、アンケートでファイル方式にして欲しいとの要望があったが2002年版は従来どおり冊子体で発行する。

2. 2002年度私立大学図書館協会総会・研究大会会場について

愛知学院大学（横山氏）より資料に基づき報告が行われた。「伝統的活字文化と図書館の現代化 いま大学図書館を考えるー（仮）」をメインテーマに、9月4日～6日開催される。総会のあとに行われる懇親会の名称変更を考慮中であること、また当日のスタッフの応援を地区から10名程度お願いしたいとの要請がなされた。なお、要請文は理事校から出すことで了承された。

3. 2002年度東海地区協議会総会会場校について

名古屋女子大学（大川氏）より日程について、5月24日（金）または5月31日（金）の10時30分から、タイムテーブルも従来のように予定しているとの報告が行われた。

4. 協会賞審査委員会・研究助成委員会

愛知大学（野口氏）より報告があり、研究助成についてはふるって申請していただきたいとの説明があった。

5. 国際図書館協力委員会

中京大学（加藤氏）より資料に基づき報告が行われ、国際人的交流（Exchange Program）については、毎年1～2名、1～3ヶ月間海外の図書館に派遣して研修を行なうが、来年度試行期間として交通費を支給し、東西合同役員会で承認されれば再来年度実施に移行したいとの説明がなされた。

6. 協会ホームページ委員会

愛知工業大学（柏本氏）より資料に基づき報告が行われた。第4回協会ホームペ

ージ委員会が2002年1月23日に亜細亜大学で行われること、図書館共通フォーマットを現在検討中であること、サーバーの有料サイト利用も検討中であることの説明がなされた。

7．東海地区研究会

岐阜聖徳学園大学（長澤氏）より資料に基づき報告が行われ、アンケートはホームページ上に載せたいとのことで相互協力委員会に引き継いでもらうことになっているとの説明があった。

2002年度東海地区研究会について、椋山女学園大学（北出氏）より活動予定の説明があった。テーマは「図書館における（情報）リテラシー教育～図書館のより良い活用のために～」で研究会は7月と9月の2回、研究集会は10月開催予定であることが報告された。日程については他の会と重ならないように考えて欲しいとの要望が出された。また、研究会の回数を従前にならい、1回ふやして欲しいとの要望があり検討することです承された。

8．東海地区協議会相互協力委員会

愛知大学（長坂氏）より資料に基づき報告が行われた。11月16日に南山大学で開催された相互協力情報交換会の報告があり、プレゼンテーションを行なった業者から共同トライアルの提案が東海地区になされているとの紹介がされた。次年度の実務担当者研修会については8月1日～2日の日程で、南山学園研修センターを宿泊施設として開催を準備しているので協力をお願いしたいとの説明があった。

9．東海地区協議会情報化委員会

南山大学（笹山氏）より資料に基づき報告が行われた。12月6日愛知工業大学で開催されたシステム・ネットワーク化情報交換会の参加者数が44名であったこと、今年度委員会を6回予定していたが、12月17日臨時委員会を行なうこととし、次年度も委員会を7回行なうことを予定しているとの説明がなされた。

10．東海地区協議会ホームページについて

南山大学（笹山氏）より金城学院大学にあったホームページを8月末レンタルサーバーに移行し、案内は理事校より出したとの報告がなされた。まだ閲覧数が少ないので、多くの人に見てもらうように伝えて欲しいとの要望が出された。

11．東海地区大学図書館協議会について

椋山女学園大学（北出氏）より資料に基づき報告が行われた。また、研修会について大同工業大学（村瀬氏）より資料に基づき報告が行われ、第1回は12月2

0日大同工業大学で、第2回は予定が遅れて来年1月下旬頃名古屋大学で行なわれるとの説明があった。

< 2 > 協議事項

1. 東海地区協議会レンタルサーバーにおけるメールングリスト運用について

南山大学(笹山氏)より資料に基づき提案がなされた。

- ・ メールングリストについては東海地区協議会、情報化委員会、相互協力委員会、研究会の4つを立ち上げる。
- ・ ホームページについての問い合わせはホームページ全体については理事校、研究会については研究会幹事校、情報化委員会と相互協力委員会については各委員長校が回答することとする。

以上、総会に提案することです承された。

2. 東海地区協議会ホームページの更新手続きについて

南山大学(笹山氏)より資料に基づき、定型更新についてはメールングリストで事後報告とし、新規または大幅に変更する場合には理事校に許可願を出すという提案がなされた。協議の結果、全て報告ということです承された。

< 3 > その他

1. 東海地区協議会および関連団体2002年度行事予定表について

理事校(鈴木)より資料に基づき説明があり、常任幹事会は5月・12月・3月に開催予定であること、また5月は総会の会場となる名古屋女子大学で開催したいとの説明がなされた。